

第13回日本図学会論文賞選考結果報告

論文賞選考委員会

日本図学会論文賞選考委員会(以下、選考委員会)は、隔年で研究論文賞と教育論文賞を表彰している。第13回は教育論文賞の表彰となる。選考委員会では、2016年および2017年の『図学研究』に掲載された研究論文・研究論文・研究資料・教育資料・図学ノート・図学教育研究会報告から、教育論文賞にふさわしい優秀な業績の選考を行った。まず、選考委員会は、編集理事および編集委員に、候補論文に対して順位付けを呼びかけた。その結果に基づいて、選考委員会はもっとも評価の高かった下記の論文を候補として選定し、理事会で報告して承認された。

第13回日本図学会論文賞(教育論文賞)

受賞者：安藤 直見

受賞論文：映画に描かれた古代エジプト建築

—建築の量塊的イメージ—



選定理由：

建築を学ぶための教材として映画を取り入れた教育方法は、学生の立場に立ってその興味を喚起できる手法であると同時に、教育の幅を広げる効果も期待できる。映画を単に娯楽作品とは考えず、建築や都市のイメージを記述した教材と捉えている点も独創的である。とくに、古代エジプト建築に着目するなど、歴史を学ぶ教材として活用している点には新規性がある。教材のユニークさに留まらず、著者による作品のイメージや構造の丹念な解析に基づく考察は、学生に様々な気づきを与えることであろう。アクティブラーニングの導入が進められる昨今において、本論の示す教育内容は、グループワークから個人作業まで対応でき、ディスカッションにも利用できる有用な手法であると高く評価できる。